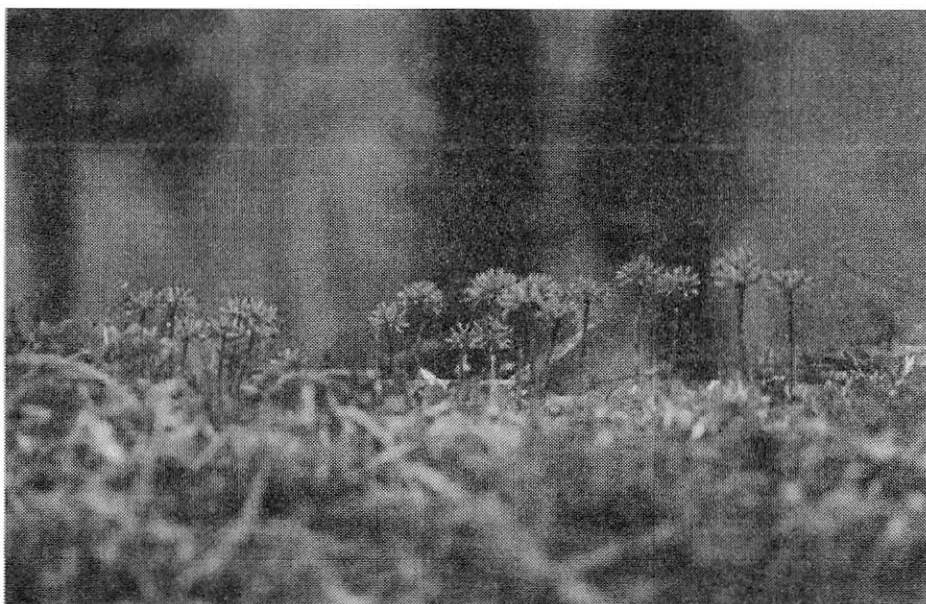


協議会ニュース 93号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2004.3



●特集:新人研修&交流会

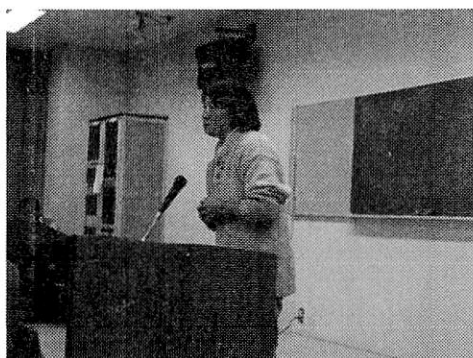
・レポート(研修担当:大谷敏和)P2
・支部便り(名古屋)P3
・支部便り(名古屋・西三河・尾張)P4~5
・会員のページP6
・観察会あれこれP7
・Web ページ紹介P8
・ <u>通常総会開催:3月20日(土・春分の日)</u>P9
・理事会だよりP10
・事務局だよりP11
・編集部だより・行事予定 他P12

■ 新人研修会

日時：12月23日（火）

場所：なごやボランティア・NPOセンター （報告：大谷敏和）

9月の講演会あたりから大竹会長や理事の方々から知恵をおかりしての取組みでした。テーマは「はじめの一步」これから観察会を立ち上げる時のヒントになることを探していました。地域の特徴がでた観察会の事例発表をすることになり、支部の方が、適任者を推薦されての発表になりました。新指導員17名を含め計43名の参加があり、大盛況に終えることができました。多くの方の力を感じた取組みでうれしく思いました。以下アンケートをまとめてみました。



● 事例発表

ネイチュアフィーリング

（岩沢 修・名古屋）

無農薬田んぼでの自然観察

（酒井 勇治・尾張）

危機管理 （平井 直人・尾張）

都市公園で自然観察

（堀田 守・名古屋）

総合学習に参加

（山田絹子 加藤寿芽・知多）

ため池での自然観察

（中西 正・東三河）

お母さんの自然観察

紙上発表。（牧野紀子・東三河）

● 参考になりましたか？

新指導員17名参加 9名分回収

十分なった 2 参考になった 7

● 参考になったことは何ですか？

田んぼの自然観察会をやっていることを知り、田んぼではいろんな生物がいて自然の営みがなされていることを知りました。昔では農業が一般的でしたが今では忘れられた自然の見直しが出来ることを再認識できると思いました。

地道な自然観察の積み重ねがその自然を守るために重要であることがよくわかった。各観察会活動の様子が大変よくわかった。観察会を運営する人の思いがよく伝わった。自分の進む道を考えるよい機会となった。各観察会が的確な目標を設定して、参加者を募り、精力的に活動している様子に感銘した。

実際の活動をしている方々がそれぞれ独自のやり方でやっていけばいいということがわかった。

観察会の持ち方や調べ方

下見の重要性 危険予知 記録の重要性
協議会会員がそれぞれ苦労していることがわかったので、これから無理せず楽せず続けていきたい。

● どのような観察会をめざしたいですか？

遠くへ行くのではなく自分の近くで足下の自然を・・・

自然の美しさ、よい所を伝えるネイチュアフィーリングをやってみたい。めざしたいと思っている。

自然観察を通して自然保護活動が出来る観察会をターゲットにしたいと思っています。

また出かけてみたいと参加者に思われるような観察会

自分が楽しめることが第一と思う。そして長続きさせていくこと。

野山・海・川だけでなく都市の中でも住宅地でもそして多数と限らず一人でもできる観察会が目標。



「エコパルなごや」でのマンスリーパネル展とネイチャークラフトの開催

名古屋市環境学習センター「エコパルなごや」とタイアップして、支部観察会のパネル展示と、クリスマスネイチャークラフト(工作教室)を行いました。

マンスリーパネル展示 (12月2日～28日)

エコパルなごや内の展示スペースを使用して、名古屋支部各観察会の活動を紹介するパネルとヒメボタル生息地の案内パネルの展示を行いました。同時に研修担当の萩原さん編集の観察会案内をパソコンのディスプレイで流しました。エコパルなごやに来館された人たちに、名古屋支部観察会の活動をアピールする貴重な場となりました。



パネル展示風景



こびとさんのクリスマスツリー

クリスマスネイチャークラフト(工作教室)

パネル展示が行われている、同じエコパルなごやのワークショップルームでクリスマスネイチャークラフトの名称で工作教室を延べ3日間行いました。



森のクリスマスリース

＊12月7日 こびとさんのクリスマスツリー

午前、午後各1回 講師:萩原さん、松浦さん
アシスタント:葛西さん、余門さん

＊12月14日 森のクリスマスリース

午前、午後各1回 講師:近藤さん、鈴木さん
アシスタント:奥村さん、余門さん

＊12月20日 こえだと木の実のアクセサリー

午前2回、午後1回 講師:中西さん、森さん
アシスタント:新宅さん、松山さん

各回とも参加者は親子連れが中心でしたが、延べ241人の参加があり盛会でした。

各講師の熱心な指導とクラフト作りの面白さで参加者から好評を得たのは言うまでもありません。最終日の日には、名古屋市内の理科教諭の研究会の先生がた27名からも受講の申込があり、別途に実施の回を追加したほどです。

今回のワークショップでは特に、新人指導員の方にアシスタントをお願いし支部活動に積極的に参加頂いた事が大きな収穫でした。



こえだと木の実のアクセサリー

平成16年度名古屋支部総会報告

滝田久憲

平成16年度の名古屋支部総会が1月25日(日)午後2時から名古屋市伏見のライフプラザ12Fのなごやボランティア・NPOセンターで開催されました。当日は会場確保の都合で相生山緑地自然観察会や庄内緑地ネイチャ・フィーリングと重なってしまいましたが、19名の会員の参加がありました。事務局長の巾さんの司会のもと、布目さんの開会の言葉、支部長の挨拶、萩原さんの議長就任と会は進みました。前もって当日不参加のために36名の支部会員の方から委任状を頂いており、議長より総会の成立が宣言されました。最初に私が平成15年度の事業実績報告を行いました。11箇所の定例観察会やエコパルなごやの協力を得て6月に実施した「ふるさと親子自然観察会」、さらに新しく立ち上げたこどもを対象にした「なごや自然教室」などの自然観察会の報告、また、一泊二日で回った長野県の高層湿原や日帰りの琵琶湖博物館での外来生物の研修などの報告、また、保健所やエコパルなごやからの受託事業などの報告、エコパルなごやで12月にマンスリー企画を行い、土日に会員の方の協力を得て、クラフト教室を行ったことなどの報告です。続いて、会計の山原さんから、平成15年度の収支決算の報告がなされました。ここでは一昨年の支部20周年記念事業を行うに当たり、一部の会員から資金を借り入れた経緯があり、この返済に関しての会計処理などが話されました。



また、平成16年度の役員については2年目の任期ということで改選は行われませんでした。

最後に、平成16年度の事業計画と予算が話し合われました。主な事業としては、11箇所の定例観察会の実施、県協議会統一事業である「ふるさと自然観察会」を6月5日(土)に鶴舞公園で行うことなどが決まりました。また、一昨年末まで定例で行なっていた室内例会を復活し、当面は環境学習などの勉強会を行うことになりました。

予定より大幅に遅れて終了した総会の後で、茶話会を開き出席者の交流を図りました。また、午後6時から場所は変えての懇親会が催され、酒を酌み交わしながらの熱い自然談義がなされました。

西三河自然観察会の20周年記念

(西三河支部)

皆さんと同様に西三河も20周年を迎えました。これを記念して『20周年記念誌』を作りました。その内容を紹介します。

【内容】

会長挨拶

- 1, 20周年の記録—写真入年譜
- 2, 定例観察会—その記録と自然

3, 西三河の自然紹介

4, 会員の声—20周年を振り返って

*印刷するとA4版で40~50p相当になりますが、今回はCDにしました。希望者はお申しこみください。

【価格】500円（送料込み）

【申し込み等】

3月末日まで、直接、電話かはがきにて申し込み願います。その後、代金を送付か、人に託しても結構です。

また、3月20日の総会のときに申し込みと代金をお支払いされるのが一番良いと思われますので、宜しくお願いいたします。

【申込み・連絡先】

中西 正

〒440-0838 豊橋市三ノ輪町3-76

電話 (0532) -62-9114

尾張自然観察会（尾張支部）

長谷川洋二

尾張自然観察会（尾張支部）は、平成16年1月10日に、名古屋市伏見の電気文化会館で、27人の会員参加で総会を開催しました。

最初に、去年亡くなった会員の太久保さんの冥福を祈って、参加者全員で黙祷を行いました。

会長のあいさつの後、鬼頭弘さんを議長に選出し、5つの議案の審議を行いました。

尾張自然観察会では、海上の森自然観察会、森林公園自然観察会、定光寺自然観察会、明德公園自然観察会、島田湿地自然観察会、岩藤川自然観察会、島田湿地自然観察会、守山自然ウォッチング、築水池自然観察会などの定例観察会やわくわく自然ランド、犬山市アメニティ協会委託観察会、講座、研修など多くの行事を行ってきました。また、機関紙の発行やホームページの運営なども行っています。こうした平成15年度の事業実績報告、収支決算報告についての議論を行い、犬山市などの委託事業への指導員の参加が少ないこと、事業報告がないことなどの意見が出されました。

平成16年度の事業計画、収支予算についての議論では、会員に積極的に参加を目的とした担当を置いて活動実態調査を行う、新入会員には、定例観察会への参加を呼びかけることなど意見が出されました。

総会では、こうした意見を含め、全員ですべての議案の承認を行いました。

また、委託観察会への派遣費の改正すること、各事業の担当者への事務連絡費を改正することなどの提案が出され、改正を行うことを決定しました。

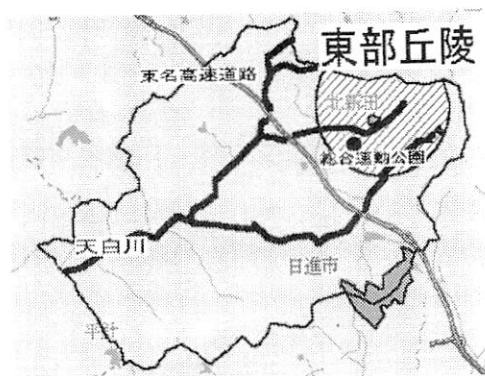
総会で選出された平成16年度の役員は、次の通りです。

会長 山田博一 副会長 鬼頭弘

監事 長谷川洋二 事務局担当 吉田雅紀 会計 加藤正行

日進市東部丘陵でトラストを行います

「トラストに参加して利害関係者となり、保安林解除に異議ありの意見書を出してください」



日進岩藤川観察会 鬼頭弘

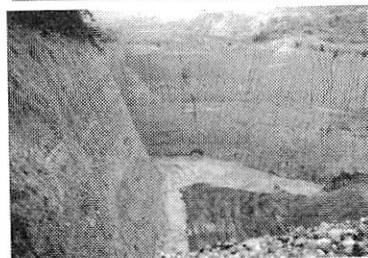
日進市は、1994年に誕生しました。その後、市内に残っていた雑木林は次々に宅地開発の波にさらされ、現在、雑木林と水辺（ため池、川、湿地）がセットになって、まとまった広さで残されているのは、上に示した「東部丘陵」だけです。ここでは、小規模な湿地が各所に見られ、ハッチョウトンボや、ハルリンドウ、シラタマホシクサ、ミミカキグサなどが普通に見られます。また、タカの仲間が冬にも夏にも訪れ、ニホンリスやノウサギも痕跡ばかりでなく姿も確認されています。

このような豊かな自然が残されているのは、天白川の源流域で、土砂流出防備保安林に指定され、開発から守られてきたからです。地質的に見ると、東部丘陵の地層の上部は砂礫が中心ですが、地下には瀬戸層群の下部にあたる瀬戸陶土層があります。

瀬戸の採掘業者が、この東部丘陵の陶土層に目をつけ、粘土と珪砂を掘る鉱業権を手に入れたことについてはすでに協議会ニュースでお知らせしました。この業者は、産業廃棄物業者でもあります。現在、鉱区内とその周辺の土地は、日進市が手をこまねいている間に業者がどんどん買いに入っています。すでに鉱区の大部分と、最初に申請した地域と同じくらいの場所を手に入れつつあります。（中部通産局に申請したとき、地元の反対運動などの結果、鉱区をせばめるよう指導が入りましたが、業者としては粘土の掘れるところは全部掘りたいのでしょ。う。）現地は、藤島鉱山の立て看板が目立つようになっています。



左の写真は、鉱区の西のはずれにあたる長塚湿地です。



この湿地の奥に見える林は鉱区に含まれます。下の写真は、この東部丘陵のすぐ隣にあった他の業者の採掘現場です。底に見える轆を見れば、深さが分かります。東部丘陵も保安林が解除されればこうなります。こんなに掘られたら、長塚湿地への湧き水など、正に、雲散霧消してしまうことでしょう。採掘業者は、何十年にもわたってこの地域を掘り続けることができるのです。跡地は埋め戻し、木を植えるようですが、水の湧き出す湿地は復活しないでしょうし、それまで湿地や林に生息していた生き物も帰っては来ないでしょう。

ここで、数人の仲間と観察会を始めたのは、2000年の5月のことでした。鉱業権の問題が明らかになってから、署名活動や、市や中部通産局とのやりとりなどで忙殺されてきました。しかし、鉱業権が認可された今、業者は保安林の解除に動き出しています。市民のできることは、採掘により影響を受けそうな場所に土地を確保し、保安林解除予定告示が官報にのったら、利害関係者として異議意見書を大量に送ることで止めることができます。まだ、一筋の光明は残っているのです。

現在、土地トラストと立木トラストの場所を確保し、トラストに参加してくださる方の参加を呼びかけるところまでこぎつけています。詳しくは日進岩藤川観察会のホームページで近々お知らせします。
<http://www.geocities.co.jp/NatureLand/1695>
または、鬼頭までメールでお尋ねください。
hkitou@mb.ccnw.ne.jp

春を味わう自然観察会

齋竹善行



3月ともなると、野にはさまざまな草花の緑が広がります。

これらの多くは11月頃に発芽しているのですが、寒さの厳しい間

は背丈が低くかったり、ロゼット状に地面に張り付いていたり、あるいは色が赤紫だったりしてひっそりと目立たずにいて、日差しが春らしくなるとともに、急速に成長し色も鮮やかな緑となってきました。

これらの花が咲くようになると昆虫も動き始め、観察会のねたも増えてきます。

そして、この時期みられる野草の中には、食べ

春の七草

セリ、ナズナ、ゴギョウ（ハコグサ）、ハコベラ（ハコベ）、ホトケノザ（シソ科で同じ名の植物がありますが、これはきく科のコオニタビラコのことです）、スズナ（カブ）、スズシロ（ダイコン）の7種をいいます。

正月に食べる「七草粥」は、この7種を使って作るものですが、今では栽培されたものが使われています。郊外の田の畦などをよく探すと、スズナとスズシロ以外の5種は見つかります。

られるものがたくさんあります。よく知られた春の七草のほか、ツクシ、フキノトウ、ヨモギなど広く食べられている野草、さらにはヨメナ、タンポポ、レンゲ、カラスノエンドウ、セイヨウカラシナ、ヤブカンゾウ、ドクダミなどいろいろな野草の名があげられます。

そこで、野草を味わってみる

観察会はいいのでしょうか。

原則として採取しないという観察会のルールからはややはずれますが、「五感を使って」ということで、たまには味覚をフルに使って楽しむこともいいでしょう。

1月くらいから七草粥をふるまうイベントも各地で開かれて、新聞記事になっています。観察会でも「食べる」をテーマにしてPRすると、参加者が増えることもよくあります。

自然観察会として行うものですから、野草を採る場合も、どんな場所に生えているのかよく観察するとともに、次のような点に注意し、節度を守って行いましょう。

- ・ 畑などに入って踏み荒らさない。
- ・ 除草剤など農薬の散布されている場所を避ける。
- ・ 有毒な植物を採らない。
- ・ たくさん採らない。

野草の食べ方は、生でサラダにして、茹でておひたしで、あるいはてんぷらにするなどいろいろ工夫してみてください。香りがあるもの、ほろ苦いもの、癖がなくさっぱりしているものなどさまざまな味のものがあります。

セリはポピュラーで食べやすいものですが、私たちの観察会ではタンポポの花のてんぷらがおいしいという評判でした。草餅に使われるヨモギなどは、香りもよくやはりおいしいものですが、繁殖力が強く嫌われもののセイタカアワダチソウも若い葉をてんぷらにすると、苦味があっても美味とはいえないものの、食べることはできます。

スイバの若い芽は酸味が強く、好き嫌いが分かれ、オオジシバリの葉は苦くて不評でした。

また、タンポポの根を使ったタンポポコーヒーも楽しめます。根を細かく刻んで、フライパンで空煎りし、煮出すとコーヒーのような色の飲み物ができます。でんぷんを焦がした香ばしい香りがします。

ふだん、土の中にあるタンポポの根など見る機会が少ないので、掘りながら根の張っている様子を観察してみましょう。

一通り味を楽しんだら、参加者で人気投票をして好みのものを選んでみましょう。

そして、人々の暮らしにこれらの野草がどのようにかかわってきたか考えてみましょう。

支部作成 Web ページの紹介



インターネットは情報発信の有力な手段です。そこで、協議会の各支部のWebページを今月号からシリーズで紹介していきます。初回は知多支部です。インターネットに接続可能な方はご覧下さい。

<http://www.japan-net.ne.jp/~furihata/>

知多支部のホームページについて

降幡光宏

今まで生活に必要な情報は新聞、雑誌、書籍、テレビ、ラジオなどのマスメディアによっていました。近年、情報伝達手段が急速に進化し、求める情報をインターネットなどにより素早く手に入れることができるようになりました。同時に団体や個人の活動の様子をホームページに掲載し、広く社会に公開・発信することができます。そんな所から、私たちの活動の趣旨や自然観察会の様子をPRする手段として有効であると考えます。そこで知多支部ホームページを2年前に開設し、自然観察会の様子を中心に公開をしています。

知多支部のホームページを開設するに当たり、技術的なことで不足がありました。そんな中、すでにホームページを開設している会員が数名あり、知多支部ホームページの開設と活用について総会で話題になりました。取りあえず、個人で開設している人の力を借りて知多自然観察会の行事予定と活動の様子を公開することにしました。その後、表示項目をすこしずつ増やしてきました。

現在公開されているもの

- ① 会の紹介と入会案内：知多自然観察会の経過と活動目的、活動内容の紹介。
- ② 生き物見つけ：観察会以外で子どもが発見し、会員に問い合わせた物の紹介。
- ③ 個人の活動紹介：会員が旅行等で取材したものを掲載している。
- ④ 最近のアルバム：知多自然観察会行事の様子と見られた生き物を紹介。
- ⑤ 美浜里山クラブ：美浜町で行っている里山活動の様子。
- ⑥ 研修・旅行：支部主催の研修旅行、指導員養成講習会の様子。
- ⑦ 2003年度行事案内：行事一覧と参加していただく時の心得など。
- ⑧ わたくしたちの活動：現在取り組んでいる活動の内容。(時々依頼がきます)
- ⑨ 仲間へのリンク：日本自然保護協会、県内

各支部、知多支部内の仲間など。

平成16年1月11日(日)に今後のホームページの活用について、支部研修会を行いました。当日の会員の参加者は25名でした。それぞれのレベルにより終日研修を行いました。

パソコン研修会の内容(少し欲張りすぎました)

- ① インターネットの利用と、ホームページ閲覧。
- ② デジカメの撮影と画像データの保存と取り出し。
- ③ 各市町のホームページ開設準備にかかる観察会原稿の作成。
- ④ 観察会の様子を紹介したホームページのソース構造の理解。

研修会の最後に今後のホームページ活用について話し合いが行われました。

今後のホームページについて

- ① 行事記録の掲示は市町毎に行い、知多支部にリンクをさせる。
- ② 観察会の行事記録はホームページ上で、年報としてCDに打ち出す。Eメールを持たない会員用にプリントで収録を作成する。
- ③ パソコン研修を今後も実施し、横のつながりを深める。

参加者の掲示

自然観察会への参加者の楽しい顔をホームページにたくさん出します。もちろん、その都度、掲載の了解を取っています。了解を取ることが宣伝になり、ホームページをよく見てくれます。

皆さんへお願い

自然観察会は「生き物の名前だけにはこだわらない」となっています。それでよいと思います。しかし、生き物の種名により自然環境が分かることが多いのです。ですから生き物の写真をたくさん出し、自然環境の説明も加えたいと思います。不明な物がたくさんあり、困っています。できるだけ閲覧していただき、教えていただきたいです。

平成 16 年度 通常総会

3 月 20 日（土・春分の日） 於：なごやボランティア・NPO センター

16 年通常総会開催のお知らせをいたします。愛知県自然観察指導員連絡協議会会員が一堂に集う数少ない機会です。万障繰り合わせのうえご出席ください。今回は規約改正という重要な議案もあり、組織を知っていただく意味でも会場に是非どうぞ。

会場設定の都合上、同封のはがきに出欠席の連絡を必ずお願いします。尚、欠席者は委任状を併せてお願いします。

【午前の部】 → 出席者全員で準備しますので、協力願います。

10:00 開場

- ◆他県のニュースレター展示
- ◆会員の写真集などの展示
- ◆自然関連小冊子・非売品の資料の無料提供
- ◆フリーマーケット（提供者自身で値段設定を）
 - ①譲りたい自然・アウトドア関連の本・グッズなど
 - ②自然素材のクラフト持参・作り方の披露もどうぞ！

フリーマーケットは
「もの」の再利用と
交流の場とします。

10:30 「コミュニケーション」について

ワークショップを通して、互いに学びあいましょう。

これまでの観察会をちょっと振り返るきっかけが見つかるかも！？

12:00 食事&フリータイム・・・（弁当持参可・会場までの道筋にコンビニあり）

名札持参を！
総会では出会いの場です

【午後の部】

12:45 受付

13:00 総会開始 会長挨拶
議長選出

13:10 平成 14 年度報告 平成 14 年度決算修正報告・監査報告
平成 15 年度補正予算報告

13:30 平成 16 年度通常総会

第 1 号議案 平成 15 年度事業報告

第 2 号議案 平成 15 年度決算報告・監査報告

14:10 第 3 号議案 規約改正について

14:45 休憩

15:00 第 4 号議案 理事・監事の承認

第 5 号議案 平成 16 年度事業計画(案)

第 6 号議案 平成 16 年度予算(案)

15:30 質疑応答 その他

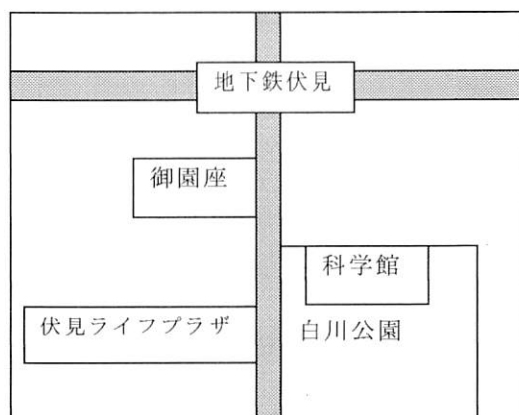
15:45 総会終了

15:50 茶話会

16:45 閉会

※ 希望者で懇親会

とら家 会費 ¥4,000



■理事会報告

日 時 2003年12月23日 10:00-12:20

場 所 なごやボランティア・NPOセンター

出席者 15名

議 事

1 来年度事業について

(1) 広報：観察会紹介パネル展示を2004年4月7日から1週間、セントラルパーク情報ギャラリーで実施する。

今回の理事会までに各支部で展示できるパネルの数を調べて報告する。

(2) 研修：森林管理の研修を県とNACS-Jが行う研修会と日程調整をすることとし、室内研修については2005/1/30に実施する計画とした。

(3) 観察会：6月の環境月間及びその前後で「ふるさと親子自然観察会」の開催の了承。

なお、そのPRをパネル展でも行うこととした。

(4) 企画：協議会のあり方などについて検討を進める旨の表明があった。

(5) 機関誌：隔月発行を目指す旨の表明があった。

2 総会準備について

○総会の議案は次回理事会に案を提示。

○規約改正案・会計報告の準備。

3 その他

○総会は春分の日に開催することを前回の理事会で決めたが、2005年は春分の日が日曜日に当るので、振替休日に開催することとした。

○観察会の傷害保険を次回理事会に保険会社を呼んで検討。

日時 2004年1月24日(土) 14:00-17:30

場 所 なごやボランティア・NPOセンター

出席者 15名

議題

来年度事業について

研修：8月に予定の1泊研修は日程都合により県とNACS-Jの研修に協力体制に変更。

05/1/30の室内研修は内容を詰める。

(2) 観察会：ふるさと親子自然観察会の支部の企画案が提示。奥三河については2/1の総会后、担当理事に連絡。

(3) 総会：総会開催案内に返信はがきの同封を了承。次第について審議。役員選出について、次回理事会で議論。茶話会部分については次回までに企画検



討。さらに、午前中に何らかの企画を考えたい旨表明。資料はA4判での作成とし、担当理事が次回理事会までに案をとりまとめ。

2・保険：保険会社の社員からレクリエーション保険と個人賠償責任保険の説明あり。現行保障のほかいくつかの保障内容で見積りを依頼。

3. 会計：会計から14・15年度特別会計、15年度補正予算、15年度決算、16年度予算の案が提案され、おおむね了解。

4. その他(1) 慶弔の対応：会員が死亡された場合、協議会ニュースにその旨掲載。

(2) 名簿：会員名簿は新規発行後、会員を整理してから発行。

日時 2004年2月7日(土) 10:00-12:30

場所 なごやボランティア・NPOセンター

出席者 9名

議 事

1 協議会議案：提案された資料(平成16年度通常総会 議案と進行予定表)に基づいて討議。4号議案は役員の承認とし、以下、5号議案を16年度事業計画、6号議案を16年度予算案とする。

2 総会当日午前のプログラムについて

午前中ワークショップを、昼食時とフリータイムに資料の展示やフリーマーケットを実施したいとの提案。午前中に何らかの行事を行うことが了解された。

3 保険：保険代理店から提出された見積りをもとに、死亡時500万円、入院時6000円、通院時4000円の保障で、保険料が25万円となるよう参加者数(6400人程度)を調整して予算措置する。保険対象にする観察会は支部から名称、開催日時、場所を連絡してもらう。

4 新年度役員：今日は参加理事が少なく決められないので、次回にあらかじめ了解をとって候補者を持ち寄り、総会に提案する役員を決める。

5 その他○UFJ 財団からの受託事業の支払いは3月になるので、15年度決算の修正が必要。○3月1日発行の協議会ニュースに、規約改正案と総会への出欠確認のはがきを同封。

平成 16 年度 通常総会

日時 3月20日(春分の日・土)

場所 なごやボランティア・NPOセンター
(地下鉄「伏見」下車)

午前10時30分開始 ワークショップ

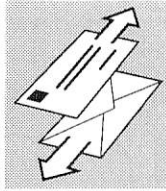
コミュニケーションについて、ワークショップを通して考えてみましょう。
観察会に役立つ気づきが、きっとあります！

午後1時開催 総会

「規約を読んだのは、加入のときだけ」
そんな声が聞こえてきそうです。
改正(案)と一緒に読んでみましょう。

はがきの投函を！

会場設定の都合上、出欠席を
同封のはがきにて必ず連絡
ください。



Q&Aコーナー

以下の問い合わせが、会員からありました。

Q.なぜでしょうか？

家族2名が会員です。今まで機関紙送付のタックシールは、家族2名連名でしたが、最近
はひとりの名前だけです。
なぜでしょう？

A.それには、理由があります。

ご理解・ご協力を

今年度より名簿管理用にマスターファイルを作成し、一般会員にコード番号1を、家族会員にコード番号2を割り振り、コード番号1の会員にチェックをいれると自動的にその住所と名前がタックシールに印刷される設定にしたため、連名での表記ができなくなったものです。この方式は管理が簡単で、送付記録も自動的に残ります。連名でないといわず、家族会員のいる会員の分を別に印刷することになります。(そうすると名簿を2種類作ることになります)

会員のみなさん、ご理解・ご協力をお願いします。

パネル展 開催決定！

於・セントラルパーク情報ギャラリー

下記の通りパネル展を行います。つきましては各支部や各観察会で準備・持参ください。

◆日時：4月7日(水)～13日(火)

場所：セントラルパーク情報ギャラリー

搬入：パネル展の前日

4月6日(火) 午後3時～5時

搬出：パネル展最終日

4月13日(火) 午後3～5時

- ・出展の条件：パネル又は額のもの。ひもで下げることができる状態を持ち込み。
チラシの配布：観察会チラシは、ひもに通して下げることができる状態を持ち込みのこと。
- ・展示希望の方は、3月20日総会時までに
広報担当：巾 賢治(勤)702-9511へ連絡を。

会員の近況

「北からのやくし道」



～北斗台から新福寺までの案内～

近藤守さん(西三河支部)

近藤守さんのフィールドのひとつ「おかざき自然体験の森」のなかを通る「やくし道」を写真と文でまとめたファイルが届きました。

3月20日の総会会場に情報コーナーを設けますので、是非ご覧ください。

◆逝去 中島照代さん(尾張支部)

大久保 巖さん(尾張支部)

西村 博さん(尾張支部)

ご冥福をお祈りします。



連絡先などの変更は早めに！

機関紙「協議会ニュース」が毎回、届け先不明のため返却されてきます。

転居・婚姻などによる住所・名前などの変更は、速やかに事務局まで(最終ページ参照)連絡ください。

(事務局：近藤)

行事予定

日時	行事名	場所	問合せ
3月20日(土・祝)	平成16年度通常総会	なごやボランティア	事務局:近藤
午前の部 10:30~	ワークショップ「コミュニケーション」	NPOセンター	052-822-7460
午後の部 13:00~	総会 【*詳細はP9をご覧ください】		
☆ 議案のひとつに規約改正があります。昨年加入の方には規約検討中ということで配布を控えましたので、この機会に是非参加を!			
3/13(土) 9:30	「朽木の虫を観察しよう」:大府市二つ池公園東駐車場集合	村瀬/0562-48-4031	
3/27(土) 9:30	「道ばたの野草と春の芽吹きを肌で感じよう」:知多市梅の館朝市前集合	山田/0562-34-8755	インターネット環境のある方は知多支部HPをご覧ください⇒ 本紙p8参照
4/4(日) 9:30	「春いっぱい」(東三河支部観察会):新城市大原調整池駐車場集合	間瀬/0532-45-1335	
	*インターネット環境のある方はHPをご覧ください⇒ http://www5c.biglobe.ne.jp/~kajino/		
5/16(日)10:00	津具村白鳥山観察会(奥三河支部観察会):津具村白鳥神社入り口集合	村上/0260-27-2714	
※92号の西三河支部「王滝溪谷観察会」の日程に誤りがございました。申し訳ございませんでした。			

表紙:ショウジョウバカマ(ユリ科)

写真集『奥三河の四季』より(撮影2000.5.7)

近藤 守さん(西三河支部)

幸田では3月の末には咲くが、奥三河の標高1000m地帯では5月になってやっと春がやってくる。カラマツが伐採され日当たりが良くなったせいか、大きな群落を見ることが出来た。

草の高さ:花の茎・10~30cm

花の大きさ:長さ1~1.5cmの花が数個つく

編集後記

毎月、月末から月初めは別の会報作成に追われ、協議会ニュースのほうは編集スタッフに名を連ねていても、自分の原稿を書くだけで精一杯です。

IT化で電子メールを使って原稿の受け渡しができるようになり、編集はずいぶん楽になりましたが、その分、VDT作業で目の疲労は増加します。

気分転換と目の保養に身近な自然のありがたさが身にしみず。 (齋竹)

<訂正のお願い>

92号で訂正箇所がありました。

P11 事務局だよりの頁

1行目 (誤)自然観察指導員講習会…

(正)自然観察指導員講習会…

同頁9月23日講演会アンケート内

10,11行目(誤)タガヤシ

(正)カダヤシ

15行目 (誤)ジャインボタニシ

(正)ジャンボタニシ

(スクミリンゴガイ)

24行目 (誤)ゲーフィッシング

(正)ゲームフィッシング

以上の箇所の訂正をお願い致します。

編集スタッフ

稲生 和久、岩沙 雅代、近藤 記巳子、
齋竹 善行、古川 俊江、苅川 真弓、
松尾 初、横井 邦子、吉田 裕孝

◎みなさまのご意見・ご感想など原稿をお寄せください。

尚、頂いた原稿は内容を変えない程度に加筆・修正する事があります。あらかじめご了承下さい。

協議会ニュース編集部

〒491-0057 愛知県一宮市今伊勢町宮後
字西松山43-1 大野荘B-106
吉田 裕孝 Tel/Fax 0586-43-3829

愛知県自然観察指導員連絡協議会 事務局

〒457-0006 愛知県名古屋市中区鳥栖2-6-17 桜本町 CH101

近藤 記巳子 Tel/Fax 052-822-7460